

インド太平洋におけるクリーンエネルギー・サプライチェーンに関する原則声明

本声明を支持する国は、以下を認識する。

1. インド太平洋地域における、クリーンエネルギー・サプライチェーンの多様化は、我々全体のエネルギー安全保障を強化し、地域横断的に新たな経済機会を創出し、我々各々の気候目標を達成するために世界規模でのエネルギー移行の加速化を支援するため、緊急かつ重要である。協働を通じて、我々は、飛躍的に増加する需要と並行してクリーンエネルギー技術の製造を拡大し、重要なデバイス、コンポーネント及びシステムを商業規模で生産する能力を可能にすることを目指す。
2. ターゲットを絞った能力開発を通じて、生産的で、働きがいのある人間らしい、質の高い、新たな雇用機会を創出し、我々全体のクリーンエネルギー関連労働力をよりよく統合し、クリーンエネルギー移行における衡平性、包摂性、ジェンダー平等及びアクセス可能性を通じて、多様性に向けて協働することにより、将来のクリーンエネルギー関連の労働力へのニーズを支えることは、地域全体の萌芽的なクリーンエネルギー産業の発展に関する技能の共有と調整の強化につながる。
3. 我々の技術標準、政策及び措置における相互運用性を追求することは、投資、サプライチェーンの構築及び研究開発協力を含め、インド太平洋地域からのクリーンエネルギー関連製品及びサービスに関する協力を効果的に促進するために重要である。
4. クリーンエネルギー・サプライチェーンのための環境・社会・ガバナンス (ESG) 実践に向けて前進するための協力強化の推進は、市場の透明性を向上させ、持続可能な発展を促進する。
5. クリーンエネルギーの研究・開発・実証 (RD&D) 及びイノベーションにおける官民の投資と協力の拡大を奨励することは、低廉性を向上させ、実証プロジェクトと商業規模のプロジェクトの間のギャップを埋め、クリーン技術の導入に対する障壁を低減するために重要である。共同研究と共同技術開発が、新技術をスケールアップするための政策設計と実施から得られた教訓を共有することに併せて革新的なクリーンエネルギー技術の商業化を加速させるために必要である。

6. 脱炭素化のためのソリューションを広めていくことを企業に奨励し、動機づけることは、クリーンエネルギー関連製品及びサービスの普及をインド太平洋全域で促進するために重要である。